



予選レポート

2016/5/28 Rd-2 岡山国際サーキット

天候：曇り 気温：22℃ 出走台数：19台

昨年、7年ぶりにSUPER FORMULAが開催された岡山国際サーキット。2年目の今季は、タイヤがブリヂストンからヨコハマゴム製に変わり、タイヤ特性の違いをいち早くコースに合わせこんだドライバーとチームが予選を生き残るだろう。

開幕戦鈴鹿で唯一、2台揃ってQ3進出を果たしたダンディライアンと野尻選手、バンドーン選手は、午前中に行われたフリー走行でも、野尻選手1位、バンドーン選手6位と、好調な滑り出しで予選に臨んだ。

ノックアウト第1予選、まず中古タイヤでアタック確認を行った両ドライバーは、残り6分でニュータイヤを装着して再度アタックへ。野尻選手はバランスに要変更点はあったものの10番手で第2予選へ進む。一方のバンドーン選手は、車体に電気トラブルが発生。ギアチェンジができない状況では走行すらままならず、ピットインし車を止め、16位で予選を終えることとなった。

続く第2予選、バランス修正しアタックラップへ。野尻選手はフィーリング改善するも、トップとの差は詰まらず6番手で第3予選へ。

そして迎えた第3予選、野尻選手は各セクターでベストタイムを記録し、一時は2番手タイムを記録するが、その後タイムアップしたドライバーに先行され5位で予選を終えた。

40：野尻 選手 予選 5 位 (第1予選10位 第2予選6位 第3予選5位) HONDA 勢3位

第1予選ではややバランスが悪かったのですが、第2予選で路面状況が良くなるに従い感触も良くなって、第3予選ではポールポジションを狙えると感じていたので、やや攻めたセットアップに変更したところ、タイムの伸び幅が思ったより少なく、裏目に出てしまった感があります。自信があっただけに残念です。明日の決勝は天候も不安定で荒れる展開が予想されます。平常心でしっかりと前を見て走り切り、昨年以上の(2015年3位)好成绩につなげたいです。

41：バンドーン選手 予選 16 位 (第1予選16位) HONDA 勢7位

フリー走行から感触も良く、走れば走るほど安定感も増し、予選は期待していました。

第1予選の中古タイヤでのアタックもとてもよかったのですが、新タイヤを装着しての本アタック中に電気トラブルが発生し、ギアチェンジができなくなりました。

第1予選を16位で終えることになってしまい、スタート位置はずいぶん後方になりますが、明日は別のチャンスがあると思いますし、雨の予報もありますので、集中して上位進出で決勝を終えたいですね。